

流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)

Q.1 流行性耳下腺炎とはどのような病気ですか。

- ムンプスウイルスに感染することにより、両側のほおが腫れる病気で、耳下腺の腫れが2日以上続きます。「おたふくかぜ」とも呼ばれ、一部(3~10%)に髄膜炎を合併することがあります。
- 冬から初夏にかけて流行し、3~6歳に多く起こります。
- このウイルスに感染した場合、1歳児では症状が出るのは20%程度ですが、4歳以降では90%程度、症状が出ます。

Q.2 流行性耳下腺炎にかかったらどうすればよいのですか。

- 特別な治療法はありません。症状を少し楽にする方法(対症療法)が行われます。

Q.3 その他、注意することはありますか。

- 思春期以降の男性では25%に睾丸(こうがん)炎を合併し、女性では30%に乳腺炎を合併することが知られています。
- 妊婦が感染した場合には自然流産することがあります。

